

駐妻のヒューストン日記

第237回 岡内里菜さん

ヒューストンに来て1年が経ちました。日本のお友達が大好きな子供達。アメリカに来る事をあまり望んではいませんでした。どうしたらアメリカに来て良かった、と思ってくれるだろう、と考え、思いついたのが旅行です。日本にいた時から旅行好きの我が家。すぐにグランドサークルへの計画実行。壮大な景色に子供達もアメリカを体感でき大満足。

【国境の街】

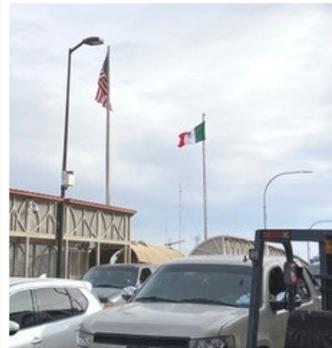
色々旅行をしてきましたが、行って良かったと思う場所、それはメキシコとの国境の街エルパソです。着いて驚いたのは、国境近くと街の中心部の雰囲気が全く違う事。高級ホテル、レストランが立ち並ぶ中心部。路上に座り込んだり寝ている人もいる国境付近。それらを見た時は、このまま国境を歩いて渡る事に不安を覚えました。

調べていくと、メキシコ側の「シウダーファレス」という街は2010年頃には世界で最も危険な都市、として知られていました。但し現在は治安も回復しております。国境付近の雰囲気から家族は乗り気ではありませんでした。「こんな体験はあまり出来ないよ」と説得して前進。国境を渡るのは1人40¢。リオデグラнде川を挟み、橋の途中にアメリカとメキシコの国旗が見えます。そこが国境です。橋を10分程歩けばシウダーファレスです。いきなり会話も看板もスペイン語。腹が減っては何も出来ない、と露店でタコスを買ひ、これが思ったより美味しい！家族は気を良くして歩き出しました。3時間程大聖堂、マーケット等を歩き、野良犬、野良猫の多さ、また、路上生活をしている人等を目にしました。私達が住んでいるアメリカでは想像もつかない光景です。子供達にとっても衝撃だった様です。

アメリカに戻る際、メキシコ入国は簡単だが、戻るのには難しい、との情報も有り、行きには無かったポリスチェックは緊張しました。私のパスポートを見ただけで家族のパスポートチェックはありませんでした。他国の人は念入りにチェックされています。最後にパスポートコントロールを通り無事アメリカに戻る事が出来ました。

【旅行を通して伝えたかった事】

なぜエルパソに行きたかったのか！それは子供達に歩いて国境を越えさせたかったのです。島国に住んでいる子供達は国境を見たことがありません。国と国は陸で繋がっている事を体験させたかった。また、ポリスによるパスポートチェックの速さ。日本のパスポートへの信頼度の高さがわかります。これは、先人が作り上げて来たものが今の私達日本人に対する信用を生み出している子供達に伝えました。実際に体験したからこそより感じてもらったのではないかと思います。これからも、旅行を通してアメリカに来たならでの体験を家族一緒に出来たら嬉しいです。



駐夫日記、駐在ファミリー日記も募集中！

ワン！モア ヒューストン

Vol. 12 アクアのお泊り体験記

川原志津香(家庭犬しつけインストラクター)

昨年アクアを我が家に迎えて数ヶ月経った頃、家の近くのペットホテルについて調べてみることにしました。旅行や一時帰国の際に、アクアを預けられる場所を早めに決めておきたいと思ったためです。

私はもともと、犬と一緒に旅行をすることが大好きです。どこにでも犬と一緒にいきたい気持ちは山々なのですが、長時間の移動や旅先の環境によっては犬に大きなストレスになるので、特に一時帰国のように飛行機移動を伴う場合には、犬を預けることにしています。急に一時帰国しなければいけない場合などに備えて、確実に預けられる先があるとやはり安心です。

さて、犬を預ける場所にはどのようなところがあるのでしょうか。泊まりがけで犬を預けることを英語ではboardingと呼び、日帰りで犬を預けることをdaycareと呼びます。Boardingをしてくれる場所は、個人宅、ペットショップに併設のペットホテル、動物病院、犬のデイケアとホテル専門の施設など色々ありますが、どのような場所を選ぶにしても、事前に足を運んでみて、自分の犬が安全に安心して快適に過ごせるかどうかを確認することをお勧めします。我が家の場合、ちょうどタイミング良く、犬のための新しい施設が自宅の近くにオープンしました。早速連絡を取り、まずは飼い主だけで見学に行くと、まるでホテルのようなエントランスに通され、細やかな対応をしてくれるコンシェルジュのようなスタッフから、施設の説明を受けました。犬用ベッドとテレビ付きの個室で、ケージに入ることなくフリーに過ごせる「スイートルーム」もあれば、ケージのような「スタンダードコンパートメント」もあり、犬のニーズと飼い主の予算に合わせて選べるようになっています。



ホテルのようなエントランスで受付を待ちます

デイケアとホテルを手がけている施設では、宿泊中の犬は日中、他の犬と一緒に遊ばせてもらえることも多いので、案内をしてくれた方に聞いてみました。すると、「まずevaluationを受けてもらって、それに合格したらデイケアに入ることができる」との返事でした。他の犬を極端に怖がったり、攻撃的になったりすることがないかどうかを見極めるために気質テスト(temperament test)を行うデイケア施設も多くあります。このようなスクリーニングに合格した犬だけがデイケアに参加でき、他の犬が苦手な犬は、デイケアには参加せずに日中数回、排泄と運動のためにスタッフと一緒に遊ぶ時間を作ってもらえます。他の犬と遊ぶのが好きなアクアは、テストを受けた結果、無事に合格することができました。

実際にお泊りに出かける前に、何度かデイケア練習を重ね、昨年末には初のお泊りを体験しました。初めて預けた日は、「他の犬たちと仲良くしているか」とまるで幼稚園に子供を送り出したときのように心配しながら過ごしていましたが、飼い主のためにインスタグラムに配信される写真や動画を見て元気にやっていることに安心することができました。家に帰ってきて、「今日どんなことがあった？楽しかった？」などと本犬に聞くことはできませんが、遊び疲れてぐっすり寝ている様子を見ると、さぞかし楽しく過ごしたのでしょう。アクアと一緒に連れていくことができない旅行の際にももちろんですが、長時間家を留守にしなければならない学校のイベントなど、必要に応じてデイケアも利用できる場所が見つかり、心からホッとしました。



数回通うとすっかり慣れて大好きな場所になりました



日中デイケア参加中は、時々写真や動画が配信されるのが楽しみ